

Ethiopia Today

エチオピア トゥデイ

November 2017

このニュースレターは

EIPP事業(エチオピア産業振興プロジェクト:JICA支援)の一環として、EIPP支援チームが日本企業および日系企業の皆さまにエチオピアの投資情報、産業立地情報等を提供する目的で発行しています。



From Ethiopia to Japan

エチオピア投資委員会 (EIC) より 新年のごあいさつ

エチオピア経済は世界で最も高い成長を遂げており、航空貨物サービスや農業、製造業、建設業、健康、教育、鉱業、観光、情報通信など、さまざまな分野にポテンシャルがあります。これまでエチオピア政府はFDI(外国直接投資)にふさわしいインセンティブを付与するとともに、インフラ整備をはじめとする必要な支援を行ってきました。その結果、工業団地も整備され、繊維縫製品や皮革製品、医薬品、農産物加工品などに特化された専業団地も用意されるようになりました。

今、世界各国の有力企業の関心が新興エチオピアに向けられ、投資が始まっています。Happy Ethiopian New Year!

*エチオピアの2017年の新年はエチオピア歴で9月11日。

出典: EICニュースレター 2017.9.13

対アフリカ投資調査で エチオピアはトップ10内

南アフリカのランド商業銀行(Rand Merchant Bank)「対アフリカ投資調査

2018年」の最新版によれば、アフリカ全ての経済開発が岐路に立つ中で、エジプト・エチオピア・ルワンダは順位を上げ、南アフリカ・ナイジェリア・アルジェリアは順位を下げた。評価はビジネス実施の相対的容易さと経済活動のバランスを示す投資魅力指数で行われた。

トップ10で注目すべき点はナイジェリアとアルジェリアが順位を下げ圏外に去ったことと、エチオピアが3ランク、ルワンダが4ランク順位を上げたことである。また、南アフリカが2012年の報告書公表以来、初めてトップの座をエジプトに譲ったことである。その最大の理由は、北部アフリカ諸国の高い経済活動スコアに対して南アフリカは低い経済成長率にあり、過去7年以上足踏み状態にある。

エチオピアは、アメリカ・中国の繊維縫製産業をはじめとする外国投資により、ガーナに代わって7位から4位に躍進した。ケニアはトップ10の中でしっかりと6位をキープしている。ケニアはエチオピアに抜かれたものの、投資家は依然として同国の多様な経済構造や市場重視政策、そして消費の拡大

傾向に魅力を感じている。タンザニアは腐敗の根絶と安定的な経済成長によりランクを2つ上げ、第7位となった。ルワンダは2年ぶりに12位から8位となりトップ10内に返り咲いた。第9位はチュニジアで、政権交代が実施され、同時に構造改革政策によってビジネス環境が改善した。また、治安をはじめとする社会的安定性が改善したことも寄与した。コートジボワールは2段階下げたが、第10位を確保している。ビジネス環境の評価は低いままだが、政府による投資誘致は十分効果を上げている。

●対アフリカ投資評価トップ10(2018年)

1位	エジプト
2位	南アフリカ
3位	モロッコ
4位	エチオピア
5位	ガーナ
6位	ケニア
7位	タンザニア
8位	ルワンダ
9位	チュニジア
10位	コートジボワール

出典: Rand Merchant Bank
[Where to invest in Africa 2018 report]

出典: EBC 2017.09.19



① ハワサ工業団地の巨大メインゲート。繊維縫製工場が集まっている
② メケレ工業団地内にある標準工場(貸工場)の内部(内装作業中)

メケレの大規模衣料品工場、完成間近!

エチオピア・メケレに建設されているDBL衣料品工場の第1フェーズがほぼ完了し、2018年2月下旬に生産を開始すると見られる。78ヘクタールの敷地に建設される衣料品工場は自己完結型コンプレックスで、既製服の他、ボタンやジッパーなどの付属品も生産する。

第1フェーズ完成で4,000人を雇用、第2フェーズ完成の暁には雇用は1万人まで増加する予定だ。このコンプレックスの投資総額は1億400万ドルで、DBLグループが3,100万ドル、スウェッドファンドが1,500万ドル、エチオピア開発銀行が5,800万ドルを拠出。ここで生産された製品は小売り大手のH&Mに供給される。

「現在、エチオピアでは付属品を全量輸入しており、国内で生産されていない。同社が付属品も生産するようになれば自社利用の他、他の企業にも供給できるようになるだろう」と、駐エチオピア・バングラデシュ大使のモニヌル・イスラム氏は語る。

DBLグループは1991年に創設され、紡績・ニットイング・染色、ならびに最終加工・洗浄・包装、プリント設備を備えている。なお、同社はバングラデシュでは合成ニット製品、繊維製品を生産し、1万5,700人を雇用している。

出典: Capital News Paper 2017.09.24

ガス開発プロジェクトに遅れ

ソマリ州オガデン盆地におけるエチオピア初の天然ガス開発プロジェクトに遅れが出ている。

中国企業ポーリー-CGLは、広大なガス埋蔵地域であるカルブ、ヒララ、ゲナール地域で石油探査と埋蔵量予測を実施してきた。同社はすべてのガス田からジプチ港までの全長700kmに及ぶガスパイプラインとガス精製プラントを建設する計画。液化天然ガスプラントはジプチ港に建設され、LNGタンカーで中国に輸出される予定。開発プロジェクトは総額40億ドルと巨大で、アジアペバ〜ジプチ間の鉄道建設、大エチオピア復興ダム建設と並ぶ「エチオピア三大プロジェクト」に位置付けられている。同プロジェクトは2017年からガス生産を開始する予定だったが、必要なインフラ整備がなされないためにスケジュール変更が行われ、少なくとも20年までは実現が困難とされている。Reporter誌は、ポーリー-CGLがパイプラインはおろか、ガス精製施設の建設にも着手していないのを確認している。モツマ・メッカサ鉦山・石油天然ガス大臣は「プロジェクトの遅れはポーリー-CGLとジプチ政府との交渉が複雑でなかなか進まないため、パイプライン建設やガス輸送、港湾利用など基本的な部分に関するものだ。政府として協

議を早めるよう説得しており、18年にはパイプラインの建設が始まるものと期待している」と述べている。

このプロジェクトは3期に分けて行われるが、20年代初めに年間300万トンの規模からスタートし、全体の開発が進むと年間1,000万トンになる見込み。なお、カルブとヒララの埋蔵量は4兆立方フィート(TCF)と推計されている。

出典: Reporter 2017.09.23

工業団地管理に関する新政令が明らかに

閣僚会議(CoM)は、さまざまな政府研究機関や民間企業による2年に及ぶ草案審議を経て、工業団地の管理に関する規則を承認した。この規則は、主として工業団地における組織の役割を定義することと具体化に焦点を当てており、実行されるべき基準と工業団地の指示を守るべき手続きに関するものである。開発業者は、EICに認可を受けるために、プロジェクトによる雇用機会の創出、知識・技能・技術移転、輸出促進の可能性、国家あるいは地方のインフラ整備に関する書類を提出しなければならない。

また、規則は約25のワンストップサービスを認めており、そこでは、投資ライセンスの認可、更新、改正、変更、あるいは交換を実施し、投資プロジェクトの拡大の許可が付与される。国際投資の専門家であるヨエブ・デカ



リン氏は「規則は多くの場面で有効であっても、他の分野では欠けていることもある。規則は、地元の投資家の参入を視点に入れていない。地場の投資は工業化を達成するために外国直接投資と同様に重要である」と指摘している。

注:投資ライセンス(許可証)はエチオピア投資委員会(EIC)本部で発行され、工業団地内のOSS(ワンストップサービス)ではできません。(本誌編集部)

出典:Fortune 2017.09.08

2019年までに 大規模な鉄鉱生産が実現 —建設産業を大きく後押し—

8月24日、鉱業・エネルギー・天然ガス省(MoMPNG)とセコタ鉱業株式会社の合意により、エチオピア初の大規模な鉄鉱石採掘が始まる。セコタのプロジェクトへの投資総額は5億ドルの予定。事業は3段階に分かれ、第1フェーズは2019年半ばに完了予定で、アジスから北方約740kmのワグ・ヒムラ地区のセコタおよびジカラ、アベルゲレの3郡を対象に探査した。その結果、採掘可能な鉄鉱石の量は2,900万トンで、含有鉄鉱は2,400万トンである。

セコタによると、選鉱方法は破碎し粒化した上で2段階の螺旋比重選鉱で行う。回収方法は磁性ロースト方式で、高濃度酸化鉄から直接還元鉄(DRI)、スポンジ鉄を得る。19年の稼働開始により、同社はエチオピアにおける最初のスポンジ鉄生産工場となる。

プロジェクトの第2、第3フェーズではそれぞれ鉄筋生産、高層用プレハブ鉄骨生産を行う。これらは主として大規模なビル建設のための建設用材料だが、現在は輸入に頼っている。

出典:Capital News Paper 2017.08.27

エチオピア規格認定公社が 直面する標準化・認証への挑戦

エチオピア規格認定公社(Ethiopian Conformity Assessment Enterprise: ECAC)による製品の規格標準化と認証に対する能力不足は、生産者をはじめとする関係者全員の協力によって解決すべき問題であると同時に挑戦である——。公社トップのテシャラ・ベフフ(Teshala Behuhu)氏は同公社主催の検討会で、「ECACは関係各社と共に国際標準のアップデートに常に対応していく必要がある。製品の標準化推進は地域が生み出す製品の輸出や、国内市場の拡大に貢献する」と述べた。

実際に、標準化や認証の欠如により、例えばドイツやノルウェーに輸出されるはずの蜂蜜製品が輸入を拒まれるなどの事態が起きている。いずれも製品検査能力の不足が根底にある。

現在、ECACは化学、電気、機械、微生物、繊維の5カ所の専門試験(検査)場を持ち、これらの分野の製品については認証可能であり、さらに、放射線ラボも準備中である。

ある。ECACも検査能力の向上に努めているが、標準化については常に新しい基準が付加されており、さらなる検査システムの更新が必要となっている。

出典:Capital News Paper 2017.08.27

BOI、タイ企業にエチオピアなど 5カ国に投資を促す

タイ国投資委員会(BOI)は、アラブ首長国連邦(UAE)、エチオピア、インド、南アメリカ、タンザニアを含む新しい市場に投資を始めることをタイ企業に奨励している。BOIは、これら5カ国は低廉な製造コスト、特に低賃金故に高いポテンシャルがあり、注視すべきと指摘している。また、これらの国々は外国投資家を惹きつけるためにさまざまな投資恩典を提案している。もちろん、リスクも無視できないので、多くの情報を集めることが必要である。そのために、BOIは8月22日、これら5カ国への投資に興味を持つタイ人投資家向けに情報提供セミナーを開催した。アフリカ経済は急成長しており、エチオピアはタイ投資家の注目を集めるところである。ちなみに、BOIは投資家に提供可能な多くの情報を持っているという。

*BOIはタイの政府機関であり、首相府の直轄機関として運営されている。

出典:EBC/Bangkokpost.com 2017.08.23



- ③ アディスアベバ市最大のダウンタウン。大型ショッピングモールがある
- ④ アディスアベバ市内ダウンタウン周辺の風景
- ⑤ 営業運転が待たれるジブチ・エチオピア鉄道。輸出入の大動脈として大きな期待を担う(EIC提供)
- ⑥ アディスアベバ市内を走る近代的な電車。専用軌道を走る
- ⑦ 拡大する高速道路網(アディスアベバ近郊)
- ⑧ アディスアベバ市内のショッピングモール内部
- ⑨ アディスアベバ市内の総合病院(MCMホスピタル)
- ⑩ ハワサ工業団地標準工場群(貸工場)(EIC提供)

エチオピアの製造業部門に残る課題

工業省と日本の国際協力機構（JICA）が行った会議で、「工業部門の品質・生産性・競争力強化のための考え方である『カイゼン』の実施は、課題はあるものの、良い結果を残しつつある」と表明された。

「カイゼン」に関して、日本政府はJICAを通じてエチオピア政府を支援してきた。エチオピア政府もこれに応える形で「カイゼン」研究所を設置。工業省は、輸出促進を目的とした育成事業（チャンピオン商品）を選定し、「カイゼン」の手法を援用して成果を上げられるよう支援してきたが、これは非常に有効だったと評価されている。アラム・シメ工業大臣は「われわれは、このアプローチを通じて多くの企業がより強く、競争力を高めるとともに、高品質の商品を製造し、日本をはじめとする市場に輸出できるようになると信じている」と述べた。

一方、エチオピアの工業部門には、不安定なエネルギーや流通、信用へのアクセス、従業員への教育・訓練を含め、幾つか大きな問題がある。さらに言えば、当国の製造業の比較優位が低賃金にあるとしても、同時に重要なのは生産性と効率性であり、低賃金だけでは成長は保証されない。

工業はエチオピアにとって非常に新しい部門である。現在、エチオピアは農業社会であり、その経済はもっぱら農業に基盤を置いている。エチオピアの工業は世界各地に輸出できる高品質な商品を生み出す必要

があり、そのためには生産性を高めなければならないが、現状は極めて低い状態にあると言わざるを得ない。

出典: Fortune 2017.8.20

ドライポートに残る膨大な所有者不明コンテナ

モジョ・ドライポートには、7,000を超える所有者不明のコンテナが放置され、多くのスペースが占拠されている。商品の輸送手段は多様化したものの、ドライポートは依然として、大混雑という問題に直面している。これは輸入業者が通関に必要な書類の作成に手間取り、時間どおりに関税の申告ができていないためである。一方、輸入業者からは、当局に関税申告するために必要な銀行からのCP（Commercial Paper）の発行に長期間要すること、通関の透明性や輸入に関わる明確なエビデンスがないとの不満があり、非難の声があがっている。

先般、ドライポート側とERCA（エチオピア関税歳入庁）の関係者との間で、放棄された7,000に上るコンテナの取り扱いについて議論されたが、結論は出ていない。

出典: The Reporter 2017.08.19

お知らせ: 神戸でエチオピア投資環境セミナー開催

2018年2月6日（火）、神戸市において、神戸市、JICA関西、JETRO神戸等との共催によりエチオピアの投資環境セミナーが開催される。当日は、本国からEIC（エチオピア投資委員会）をはじめ、IPDC（工業団地開発公社）など幹部が出席予定。エチオピア

市場の現状や見通し、関連インフラ事情など、現地の最新情報を担当部局から直接お届けする他、日本人スピーカーによるエチオピアビジネスの体験談、パネルディスカッション等も予定している。

エチオピア市場や工場進出などに関心のある企業の皆さまのご出席をお待ちしています。会場などの詳細は次号（新年号）でご案内予定。

（本紙編集部）

エチオピア航空「お帰りハイヤーサービス」

前号でもお知らせしたが、エチオピア航空ではビジネスクラスの利用者を対象に、成田空港到着後の「お帰りハイヤーサービス」を実施している。今回は2018年3月30日、日本到着分まで。対象航空券や申し込み方法、無料対象地域（東京都・神奈川・埼玉・千葉・茨城県内の主要地域）などの条件・申込書等は同社のホームページまたは下記をご覧ください。

<http://www.gsa.co.jp/et/svc/HIRESERVICEJP.pdf>

●エチオピア航空ホームページ
<http://www.ethiopianairlines.com>



エチオピア航空旅客機（同社ホームページより）

出典: エチオピア航空ホームページ



① エチオピアの綿花（EIC提供）

② 縫製工場の作業風景。労働力は豊富（EIC提供）